

- 11:1 ナアマンツォファルが答えて言った。
11:2 ことば数が多ければ、
言い返しがないであろうか。
舌の人が義とされるのだろうか。
11:3 あなたのおしゃべりは人を黙らせる。
あなたはあざけるが、
だれもあなたを恥じさせる者がいない。
11:4 あなたは言う。
「私の主張は純粋だ。
あなたの目にも、きよい。」と。
11:5 ああ、神がもし語りかけ、
あなたに向かって
くちびるを開いてくださったなら、
11:6 神は知恵の奥義をあなたに告げ、
すぐれた知性を倍にしてくださるものを。
知れ。神はあなたのために、
あなたの罪を忘れてくださることを。
- 11:7 あなたは神の深さを
見抜くことができようか。
全能者の極限を
見つけることができようか。
11:8 それは天よりも高い。
あなたに何ができよう。
それはよみよりも深い。
あなたが何を知りえよう。
11:9 それを計れば、地よりも長く、
海よりも広い。

ヨブの惨状を見て泣いた友人たちでしたが、議論になるにつれ、ヨブを非難するようになります。エリファズは自分の信仰経験から、ビルダデは伝統から、そしてツォファルは論理から主張して非難します。

純粋・潔白というヨブの主張は間違いで、人はみ

な罪人ですからツォファルが正しいのですが、ツォファルはその動機がずれています。自分の正しさを主張するためだからです。

罪の結果は何でしょうか。それは刈り取りの原理から言うと、すなわち因果応報の原理から言うときさばきであり滅びです。しかし神様の恵みの原理は、因果応報の刈り取りではなく、むしろ憐れみによる救いです。いやしであり、回復です。

また神は「罪を忘れて（原語の意味は「あなたの罪よりも軽く罰しておられる」）」くださるのですが、ならば文字通り赦しておられるはずですが、ツアフォルが意味するように、「あなたの罰よりもあなたの罪の方が重い」というように非難するためのものではありません。

イエス様の思いとイエス様の真理を動機にしましょう。また人から責められるとき、その声よりもイエス様の声を聞きましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

